

令和7年度の重点課題

○男女ともに「握力」「上体起こし」の記録が県平均・全国平均を下回っている。

○女子は、昨年度と比較すると「握力」「ボール投げ」以外の項目で記録が伸びているものの、8項目中6項目で県平均・全国平均を下回っている。

○運動やスポーツをすることが好きだと答えた児童は男子が66.67%から86.96%、女子は40.91%から55.17%と増加しているが、一方で女子の「嫌い・やや嫌い」を選択した児童が大幅に増加している。(0%から13.79%)

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○教職員対象の実技研修を夏休み期間に行う。
○授業の中に遊びを取り入れた活動を行う。(おにごっこ・しっぽとりなど)
○準備体操を工夫して握力や腹筋を鍛えたり、サーキットトレーニングを行ったりする。
○11月に、保健体育委員会を中心として、全校で走る・跳ぶことを目的とした活動を企画・実施する。
○12月に2週間、長縄週間を設定し、クラスごとに回数や伸びしろを記録して表彰をする。
○縄跳び台や一輪車の使用を推奨する。
○クラス遊びでの体育館使用を推奨する。
○ちょこっと体力づくりコーナーの設置(握力を鍛えるコーナー)

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.78	20.00	32.11	42.11	60.56	8.44	166.67	22.78	58.00	第5学年	15.28	14.88	35.84	37.76	50.52	9.05	153.08	13.08	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.78	20.00	32.11	42.11	60.56	8.44	166.67	22.78	58.00	第5学年	15.28	14.88	35.84	37.76	50.52	9.05	153.08	13.08	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	88.89	11.11	0.00	0.00	第5学年	48.00	28.00	12.00	12.00

学校独自の意識調査

重点課題

情意面での課題

○男子に比べて女子の運動がやや嫌い、嫌いの割合が24%高くなっている。また、運動が好きと答えた割合も女子の方が40%低くなっている。
○男子に比べて女子の方が運動に対する肯定的評価が低くなっている。

体力面での課題

○男子は「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値未満である。
○女子は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値未満である。

令和9年度の
重点目標値

- 男女の運動に対する肯定的な意識の差を10%未満にする。
- 男女ともに県平均値かつ全国平均値未満の項目を令和8年度より減少させる。
- 特に男女共通の課題である「長座体前屈」の値を県平均値かつ全国平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 実践事例を交流する職員研修を行う。
- 授業導入の準備運動を主運動にあった活動やACPを取り入れるようにする。
- 柔軟性の課題を改善できるような運動を準備運動に取り入れる。
- サーキットトレーニングを取り入れ、基礎体力の向上を図る。
- 学期に1回程度の体育科の研究授業を行い、学校全体で授業改善に取り組む。

体育の授業以外で行う取組内容

- 保健体育委員会が企画した運動イベントを2・3学期に行う。
- 教室でできる柔軟運動を朝の会などに取り入れる。
- 空き教室を活用し、休憩時間に日頃はできない運動に親しめるような場を設定する。(握力や長座体前屈などの体力テスト種目を中心に設置)
- 縄跳びカードや縄跳び記録会を行い、表彰することで運動に対する肯定感を向上させる。